

授業科目 小児看護学概論	区分・教育内容		
	専門分野Ⅱ 小児看護学		
授業担当者 秋山 祥子 (専任教員)	開講時期	単位	時間数
	前期	1 単位	30 時間
<b>授業の目的</b> 変化する社会の中で、子どもの基本的な人権を守り、対象のおかれている状況を的確に判断し、成長・発達や様々な健康状態に応じた看護を全人的に考えることを学ぶ。			
<b>授業の目標</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小児看護の対象について身体的・心理的・社会的面から理解できる。</li> <li>2. 子どもを取り巻く社会環境や健康問題を理解し、看護と関連させて考えられる。</li> <li>3. 子どもを取り巻く諸制度とその活用が理解できる。</li> <li>4. 子どもが健康な生活を送るための養育・看護が理解できる。</li> </ol>			
<b>授業概要</b> 子どもとは何でしょう？ この科目では自ら調べ、作品を作り上げる活動を通し、「子ども」が成長・発達をする存在であることをとらえます。また、成長・発達に応じた生活援助の必要性やどのような援助が必要かを学びます。さらに、現代社会の諸問題や家庭環境から、子どもに及ぼす影響や小児看護の役割を考えます。			
<b>授業計画 (進め方)</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 回目 小児医療・小児看護の変遷 小児看護の特徴と理念</li> <li>2 回目 子どもと家族</li> <li>3 回目 子どもの人権と看護 (諸統計・子どもの権利・行政施策・諸問題)</li> <li>4 回目 子どもの成長と発達の原則</li> <li>5 回目 乳幼児健康診査発育・発達の評価</li> <li>6・7・10・12・14・15 回目 子ども各期の特徴と発達に応じた生活の支援 (個人ワーク・グループワーク)</li> <li>8・9 回目 子どもの栄養</li> <li>11 回目 予防接種 学校保健</li> <li>13 回目 児童虐待</li> </ol>			
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院			
<b>参考書・指定図書</b> 随時、授業に関係があるものを紹介する。			
<b>評価の方法</b> 筆記試験 70% 個人ワーク・グループワーク 30%			